



【講師用資料】 コンピュータウイルスに感染すると… 【1ページ】

コンプライアンス研修用資料 1

情報セキュリティ

コンピュータウイルスに感染すると…

【研修について】

- ・本研修の目安時間は、15分間です。
- ・講師の指示に従って、本資料を読み進めてください。
(勝手に本資料を読み進めないでください。)

進行シナリオ

1 タイトルと研修の注意事項(以下)を話す。

本日は、「コンピュータウイルスに感染してしまった場合」について、研修を行います。

研修の時間は15分程度ですので、学習したことをしっかり覚えるようにしてください。

また、お配りした資料は、私の指示に従って、めくってください。勝手にめくって読み進めないようにお願いします。

では、資料を1枚めくって、2ページを見てください。

2 資料を一枚めくる。(2ページに移る)

【2ページ】

2

【本研修の目的】

- ・隣の人や、後ろの人と意見交換をしながら、学ぶことを目的としています。積極的に発言しましょう。

進行シナリオ

1 研修の目的(以下)を話す。

この研修は、両隣や後ろの人と意見を交換しながら進めています。研修中には、いくつかの質問があります。正解・間違いは問いませんので、周りの人と積極的に意見交換してください。
では、3ページに移ってください。

2 3ページに移る。

【社内・代理店限】

【3ページ】

3

コンピュータウイルスに感染すると…

コンピュータウイルスとは、パソコンなどのコンピュータに被害をもたらすプログラムのことです。「ウイルス」の名前のとおり、コンピュータウイルスの多くは、増殖する仕組みを持ち、拡散します。

日々の業務では、使用しているパソコンが、コンピュータウイルスに感染しないよう、注意を怠らないことが大切です。

Q1 コンピュータウイルスに感染してしまう可能性があるのは、どのような行為でしょうか？



The diagram shows a central laptop with a face and the word 'VIRUS' written below it. Blue arrows labeled '増殖' (multiplication) point from the central laptop to other computers and mobile devices connected by a network. Red arrows labeled '拡散' (diffusion) point from the central laptop to more distant devices.

意見がなかなか出ない場合は、「見知らぬ人からメールでファイルが送られてきたことはないですか？」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

【社内・代理店限】

進行シナリオ

1 シーンを話し、1つ目の問題を出す。(以下を話す)

コンピュータウイルスに感染すると…

コンピュータウイルスとは、パソコンなどのコンピュータに被害をもたらすプログラムのことです。「ウイルス」の名前のとおり、コンピュータウイルスの多くは、増殖する仕組みを持ち、拡散します。

日々の業務では、使用しているパソコンが、コンピュータウイルスに感染しないよう、注意を怠らないことが大切です。

では、皆さんに1つ目の質問をします。

「コンピュータウイルスに感染してしまう可能性があるのは、どのような行為でしょうか？」

1分程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

2 1分程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう。)

いろいろな意見が出たようですね。

では、〇〇さん、可能性のある行為にはどんなものがありますか？

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、4ページで解答を確認してみましょう。

4 資料を一枚めくる。(4ページに移る)

【4ページ】

4

コンピュータウイルスに感染すると…

A 1 次のような行為が考えられます。

- メールを介した感染
- 差出人不明なメールの添付ファイルを開く
- 
- インターネットを介した感染
- 不審なWebサイトを閲覧する
- 
- 情報端末を介した感染
- ウイルスに感染した情報端末をパソコンに接続する
- 不審な動画ファイルや音楽ファイルをダウンロードする
- ウイルスチェックしていない情報端末をパソコンに接続する
- 脆弱性に関するもの
- OSやソフトのセキュリティパッチ(修正プログラム)を更新しない

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

様々な経路から、コンピュータウイルスに感染する可能性があります。代表的なものは、メールを介した感染です。差出人不明なメールの添付ファイルは絶対に開いてはいけません。また、不審なWebサイトからファイルをダウンロードして感染してしまう場合もあります。ダウンロードしたファイルが実はコンピュータウイルスだったという結果にならないように、注意しましょう。

他には、ウイルスに感染している情報端末を会社のパソコンに接続し、感染することや、ソフトウェアの脆弱性について感染してしまう場合もあります。

では、5ページに移ってください。

2 5ページに移る。

【5ページ】

コンピュータウイルスに感染すると…

5

Q2

コンピュータウイルスに感染すると
どのようなことが起きるでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「Webサイト等で、コンピュータウイルスの感染に関するニュースを聞いたことはありませんか？」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 2つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに2つ目の質問をします。
「コンピュータウイルスに感染するとどのようなことが起きるでしょうか？」

先ほどと同じように、30秒程度で、周りの人と意見を出しあってください。それでは始めてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。
では、〇〇さん、どのようなことが起きるのか、思いついたことを発表してください。

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、6ページで解答を確認してみましょう。

4 資料を一枚めくる。(6ページに移る)

【6ページ】

6

コンピュータウイルスに感染すると…

A
2 次のような異常が起きます。

- データが破壊・改ざん、消去される
- メールソフトが悪用され、ウイルスが拡散する
- 会社のシステムに異常が発生する
- ハードディスクがクラッシュする
- パソコンが勝手にシャットダウンするなどの症状が発生する
- 見覚えの無いメッセージや広告が表示される
- 情報を盗み取られる(情報が外部流出する)

他にも、「アプリケーションが起動しない」、「パソコンの動作が極端に遅くなる」、「パソコンが一切操作できなくなる」など、様々な異常が起きる可能性があります。



進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

コンピュータウイルスは悪意を持って作成されています。感染してしまうと、

- ・ データが破壊／改ざんされる
 - ・ ハードディスクがクラッシュする
 - ・ 情報を盗み取られる／情報が外部流出する
 - ・ ウィルスが拡散する
 - ・ パソコンの動作がおかしくなる
 - ・ 会社のシステムが動かなくなる
 - ・ 見覚えの無いメッセージや広告が表示される
- などの結果となります。

ウイルスには様々なタイプがあり、他にもパソコンの動作が極端に遅くなる等の症状が発生します。

では、7ページに移ってください。

2 7ページに移る。

【7ページ】

コンピュータウイルスに感染すると…

7

Q3

自分のパソコンや会社のサーバー
がコンピュータウイルスに感染した
場合、業務上どのような
状態になるでしょうか？



意見がなかなか出ない場合は、「ウイルスに感染してしまったパソコンをそのまま使用することはできますか？」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 3つ目の問題を出す。(以下を話す)

続いて、皆さんに3つ目の質問をします。
「自分のパソコンや会社のサーバーがコンピュータウイルスに感染した場合、
業務上どのような状態になるでしょうか？」

30秒程度で、考えてみてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、8ページで解答を確認して
みましょう。

3 資料を一枚めくる。(8ページに移る)

【社内・代理店限】

【8ページ】

8

コンピュータウイルスに感染すると…

A
3-1 パソコンの復旧に多大な時間を費やされ、業務が行えない



データが破壊、改ざんされてしまい、バックアップをとっていなかった場合は、さらに多くの時間が必要になることもあります。

A
3-2 会社全体の業務が行えない



サーバーがコンピュータウイルスに感染してしまうと、システムに不具合が生じ、会社全体の業務がストップしてしまう場合もあります。

業務が行えないことによる取引先への謝罪なども必要となります。また、債務不履行による損害賠償責任が生じる可能性もあります。

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

個人のパソコンについては、ウイルスの除去作業や復旧作業が必要となり、業務がストップしてしまいます。仮にデータが破壊・改ざんされてしまった場合は、更なる復旧時間が必要となります。

また、ウイルスが拡散し、会社のネットワークが感染してしまうと、システムにアクセスできないなどの状態となり、会社全体の業務がストップしてしまう可能性もあります。

得意先などから委託されている業務が行えなくなった場合は、謝罪の必要性や損害賠償責任も生じます。

では、9ページに移ってください。

2 9ページに移る。

【9ページ】

コンピュータウイルスに感染すると…
9

Q4

コンピュータウイルスに感染しないために、個人としてどのような注意（予防）をすればよいでしょうか？

意見がなかなか出ない場合は、「4ページを参考に考えてみましょう。」など、発言をしやすい問い合わせを行ってください。

進行シナリオ

1 4つ目の問題を出す。(以下を話す)

では、皆さんに最後の質問をします。
「コンピュータウイルスに感染しないために、個人としてどのような注意（予防）をすればよいでしょうか？」
30秒程度で、考えてみてください。周りの人と意見を出しあってもかまいません。それでは始めてください。

2 30秒程度待ち、以下を話す。(1名に発表してもらう)

いろいろな意見が出たようですね。
では、〇〇さん、どのような注意をすればいいかを発表してください。

3 発表を聞いて、以下を話す。

ありがとうございました。では、資料を1枚めくって、10ページで解答を確認してみましょう。

4 資料を一枚めくる。(10ページに移る)

【10ページ】

コンピュータウイルスに感染すると…

10

A
4

- ・差出人不明のメールの添付ファイルは絶対に開かない。
- ・不審なWebサイトを表示しない。不信なWebサイトから、ファイルをダウンロードしない。
- ・OSやソフトウェアのセキュリティパッチ(修正プログラム)を確実に実施する。
- ・ウイルスチェックしていない情報端末を会社のパソコンに接続しない。

コンピュータウイルスに感染してしまうと、周囲に迷惑がかかる場合もあります。ついうっかり感染しないように、細心の注意を払いましょう。

進行シナリオ

1 解答を話す。(以下を話す)

まずは、差出人不明なメールに添付されているファイルは絶対に開かないよう注意しましょう。中には、クライアントの担当者を装った巧妙なメールもあります。騙されないように注意しましょう。

次に、不審なWebサイトからファイルをダウンロードしないようにしてください。便利なソフトウェアを装ったものもあります。また、違法アップロードされている音楽ファイルなどの場合、その事実を知りながらダウンロードすることは違法であることを認識しましょう。

最後に、ウイルスチェックしていない情報端末を会社のパソコンに接続してはいけません。症状が無くても、ウイルスに感染している情報端末もあり、会社のパソコンに接続すると、ネットワークを介してウイルスが拡散してしまう可能性があります。

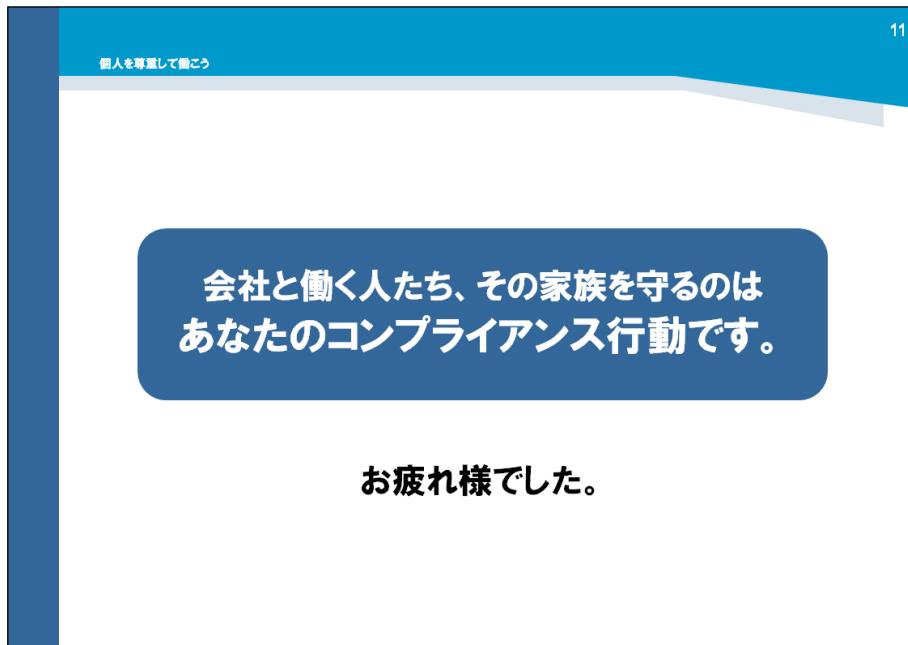
2 まとめの言葉を話す。(以下を話す)

コンピュータウイルスに感染してしまうと、周囲に迷惑がかかる場合もあります。ついうっかり感染しないように、細心の注意を払いましょう。

では、11ページに移ってください。

3 11ページに移る。

【11ページ】



進行シナリオ

1 締めの言葉を話す。(以下を話す)

会社と働く人たち、その家族を守るのは、あなたのコンプライアンス行動です。

以上で、本研修は終わりです。お疲れ様でした。

【社内・代理店限】